

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 6 月 18 日 (2020.6.18)

【公開番号】特開 2020-68844 (P2020-68844A)
 【公開日】令和 2 年 5 月 7 日 (2020.5.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-018
 【出願番号】特願 2018-202633 (P2018-202633)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 7 日 (2020.4.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、

遊技者にとって有利な内容に対応する有利演出を所定期間の経過後に実行可能であるとともに、所定期間の残り期間に対応した所定表示の更新動作を含む所定演出を実行可能な演出実行手段を備え、

前記演出実行手段は、

所定期間の経過後において所定表示の表示態様を特定態様としない第 1 パターンと、所定期間の経過後において所定期間が新たに設定されることに対応して所定表示の表示態様を特定態様とする第 2 パターンと、を含む複数種類のパターンのうちいずれかにて所定演出を実行可能であり、

前記第 1 パターンと前記第 2 パターンのいずれにおいても、所定期間が経過した時点において所定表示の表示態様を共通の態様とすることにより、所定期間が新たに設定されることを示唆し、

前記第 1 パターンと前記第 2 パターンのいずれにおいても、所定期間が経過した時点において所定表示の表示態様を所定期間が残存しているような表示態様とすることが可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

手段 A の遊技機は、

遊技を行うことが可能な遊技機であって、

遊技者にとって有利な内容に対応する有利演出を所定期間の経過後に実行可能であるとともに、所定期間の残り期間に対応した所定表示の更新動作を含む所定演出を実行可能な演出実行手段を備え、

前記演出実行手段は、

所定期間の経過後において所定表示の表示態様を特定態様としない第 1 パターンと、所定期間の経過後において所定期間が新たに設定されることに対応して所定表示の表示態様を特定態様とする第 2 パターンと、を含む複数種類のパターンのうちいずれかにて所定演出を実行可能であり、

前記第 1 パターンと前記第 2 パターンのいずれにおいても、所定期間が経過した時点において所定表示の表示態様を共通の態様とすることにより、所定期間が新たに設定されることを示唆し、

前記第 1 パターンと前記第 2 パターンのいずれにおいても、所定期間が経過した時点において所定表示の表示態様を所定期間が残存しているような表示態様とすることが可能である

ことを特徴としている。

この特徴によれば、遊技者は所定期間が新たに設定されることに期待するため、遊技興趣を向上させることができる。

手段 1 の遊技機は、

遊技を行うことが可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機 1）であって、

遊技者にとって有利な内容に対応する有利演出（例えば、V 入賞大当り演出 / 変形例 1 の大当り確定報知演出など）を所定期間（例えば、第 2 大入賞口 7 0 2 B の開放期間 / 変形例 1 の押しボタン 3 1 B の操作有効期間）の経過後に実行可能であるとともに、所定期間の残り期間に対応した所定表示（例えば、タイムゲージ画像 Z 4 / 変形例 1 のタイムゲージ画像 Z 3 4）の更新動作を含む所定演出（例えば、入賞促進演出 / 変形例 1 のボタン操作演出）を実行可能な演出実行手段（例えば、演出制御用 CPU 1 2 0）を備え、

前記演出実行手段は、

所定期間の経過後において所定表示の表示態様を特定態様としない第 1 パターン（例えば、演出パターン B / 変形例 1 の演出パターン PT - 2, PT - 4）と、所定期間の経過後において所定期間が新たに設定されることに対応して所定表示の表示態様を特定態様とする第 2 パターン（例えば、演出パターン C / 変形例 1 の演出パターン PT - 3, PT - 5, PT - 6）と、を含む複数種類のパターンのうちいずれかにて所定演出を実行可能であり、

前記第 1 パターンと前記第 2 パターンのいずれにおいても、所定期間が経過した時点において所定表示の表示態様を共通の態様とすることにより、所定期間が新たに設定されることを示唆する（例えば、演出制御用 CPU 1 2 0 が、入賞促進演出における小当り 1、3、5、9 に対応する演出パターン B と、小当り 8、12 に対応する演出パターン C では、少なくとも第 2 大入賞口 7 0 2 B の開放制御が終了（閉鎖）したタイミング Ta 3 において、ゲージが残存しているような態様のタイムゲージ画像 Z 4 が表示されることで、第 2 制御において第 2 大入賞口 7 0 2 B の 2 回目の開放制御が行われる可能性を示唆する部分。図 5 9 ~ 図 6 1 参照 / 変形例 1 において、演出パターン PT - 2, PT - 4 と演出パターン PT - 3, PT - 5, PT - 6 とは、少なくとも 1 回目の操作有効期間が終了するタイミング Ta 4 からタイミング Ta 5 まで、ゲージが残存しているような共通の態様のタイムゲージ画像 Z 3 4 の表示が継続されることで、操作有効期間がもう 1 回設定される可能性が示唆される部分。図 6 6 ~ 図 6 8 参照）

ことを特徴としている。

この特徴によれば、遊技者は所定期間が新たに設定されることに期待するため、遊技興趣を向上させることができる。